

山行報告

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 平尾

山 名	藤倉山 (644m)・鍋倉山 (520m)		山行名	例会				
ルート	今庄駅～愛宕山～藤倉山～鍋倉山～弘法寺～湯尾峠～八十八ヶ所登山口～今庄駅							
山行日	2025 年 5 月 23 日 (金)		天 候	晴れ				
参加者	CL 平尾、SL 伊藤、川田(真)、木田、阪本、佐々木、多田、仲野、高橋、田中(深)、原田、森田、米田、新井 (入会お試し) /14 名							
ルート概略図 			コースタイム					
			地名		時:分	地名		時:分
			京田辺			鍋倉山	着	12:44
				発	6:00		発	12:58
			今庄駅	着	8:23	弘法寺	着	13:40
				発	8:48		発	13:40
			愛宕山	着	9:08	湯尾峠	着	14:03
				発	9:25		発	14:13
			藤倉山	着	11:00	今庄駅	着	14:45
				発	11:51		発	

真今冬の多雪で、R517 の冬季通行規制の解除が遅れていた。奥越土木事務所と大野市道路課・森林課に問い合わせると、福井側からの国道は未整備ながらなんとか入れ、大野市道もよいが、その先の作業道が積雪 (50 c m) で通行止めと判明した。やむなく姥ヶ岳山行は中止し、行先を福井嶺南の藤倉山・鍋倉山に変更し実施した。今庄駅前の無料駐車場に 3 台を止め、準備体操をして出発。旧宿場町の街並みは静かでタイムスリップしたかのよう。観音堂の左手にカタクリ群生地があり、そこから山道の急登が始まる。新羅神社からの道と出会うと山腹を巻いていく。前方にはブナの太い木が数本現れる。エゴノキの落花が散らばり、コアジサイが蕾をつけていた。燧ヶ城址で一息入れる。右側の展望が開け、駅周辺の町並みを見下ろす。町並みの向かいには日野山が見えた。愛宕山三角点を確認し先に進む。急坂を上り 2 つの鉄塔を越える。ロープを張った急登もあった。ユズリハが林床に広がり、古い葉の上の黄緑の新葉が光っていた。ところどころ花や実も見られた。時々甘い匂いが漂い、見上げるとホオノキの花が咲いていた。カンアオイの仲間もたくさん見られたが、残念ながら花を見ることはなかった。3 つ目の鉄塔を越えると、最後の登りの先には新緑の若いブナ林が広がっていた。ほぼブナの純林で落葉を踏んで緩やかな林内を歩く気分は最高だった。山頂手前の反射板のところで北側を望んで昼食、前にはタニウツギのピンクの花が青空に映えていた。傍のミズナラの葉には「落とし文」がついていた。(ゾウムシの仲間のオトシブミが作った揺籃で、中には卵が入っている)。ブナの林を西に向かい、ホノケ山との分岐を右へ曲がる。目の前に太いブナが現れたが、その先の崖道は急で道幅も狭く、慎重に下る。尾根筋のブナ林をたっぷり味わいながら鍋倉山めざしひと登り。山頂は樹林に囲まれ展望はない。一旦下り、鉄塔の先から最後の登り。西側の展望が開ける。弘法寺の境内に出、メンバーが撞いた「鐘」の音の余韻が響く。参道の脇には石仏が並び、極楽橋を渡り八十八ヶ所の 50 番から順にみていく。アンテナのある所で道が分かれる。右へ行くと参道、30 分程で八十八ヶ所登山口にでる。われわれは計画通り、左の湯尾峠方面をめざす。石仏は 51 番から順に番号が増えていく。88 番で湯尾峠につく。旧北国街道の跡で、芭蕉がここで詠んだ「月に名を つつみみかねてや いもの神」の句碑があった。燧ヶ城跡にも「義仲の 寝覚めの山か 月かなし」の句碑があったそうだが見落とした。雨がちな日々、好天に恵まれ爽やかな山行日和のもと新緑のブナ林を楽しむことができた。駅前で解散。25 日には駅前でソバ祭りが催される (近くの蕎麦屋へ向かったが営業時間終了だったのが残念) YAMAP : 8.8 k m、上 752m/下 752m、5 時間 57 分
ヒヤリハット なし

原田

当初の計画では姥ヶ岳が目的地だったのですが道路事情により JR 今庄駅からスタートの藤倉山、鍋倉山周回コースに変更になりました。松井山手から 2 時間半、高速道路をおりるとすぐに今庄駅に着きました。藤倉山、鍋倉山の名前は初めて聞きましたが、今庄駅から見上げると昔話に出てくるような木々に覆われた静かなたたずまいの山でした。宿場町の面影を残す今庄の町を通り抜け、最初に登る愛宕山は木曾義仲築城といわれる山城のあったところで石垣や土塁が残っているのが興味深かったです。そこから急登が始まり、傾斜のきつい登りは久しぶりだったのでふくらはぎの裏が悲鳴をあげていましたが、ゆっくりペースで登ってくださったのでなんとか藤倉山に到着しました。藤倉山手前からブナ林の中の快適な登山道になり、美しいブナの木立と新緑に感動しながら歩きました。鍋倉山までは急な下りで足下に気をとられましたけどところどころにブナの大木が見られて初めてのブナ林を堪能することができました。平尾さんにブナやホオノキ、ユズリハなど山道に見られる植物についていろいろお話をうかがえたのも楽しかったです。急な行き先変更でしたが、とても良いところに連れて行っていただきありがとうございました。

木田

「姥ヶ岳」から急遽変更となった「藤倉山・鍋倉山」への山行は、今庄宿が出发点だった。これまで今庄は車で通過するだけで、名前を知っている程度だったが、今回は歩いたことで、昔の面影を残す素朴な雰囲気を感じることができた。急坂を過ぎた最初の休憩の「燧ヶ城趾」は、北国街道を進む軍勢を見下ろし、戦いの準備をしたとされる歴史を感じさせる場所にあった。山道を歩く途中、沿道の樹木や花々、キノコ類についての CL の詳しい説明には、毎回のことながらその知識の深さに感嘆する。今回の主目的であるブナ林は、新緑が日光を浴びて鮮やかに映え、涼しい風が吹き抜ける心地よい穏やかな空間が広がっていた。鍋倉山から湯尾峠へと下ると、芭蕉の句碑をはじめ、北国街道の往時を偲ばせる趣が漂っていた。また、今回の体験山行に参加した A さんとは前後しながら歩き、山友会について話を交わす機会を持てたことも良かった。A さんの入会を楽しみにしている。

H さん、次回は紅葉に染まる姥ヶ岳の「約 1 万本のブナが茂る森」を楽しみにしています。

多田

福井県南越前町まで日帰りの山行でしたが、3 時間もかからないで行ける事を知り、福井もいいなあと思いました。アクセスの不可で姥ヶ岳からの変更でしたが、ブナ林が同様に美しく、いつまでも見ていたい景色でした。ブナの他にもウツギ、ツバキ、エゴノキ、クロモジ、ユズリハ、コアジサイ、ホオノキ等々、平尾さんに色々教えていただき楽しい山行となりました。秋のブナ林、カエデの紅葉も素晴らしいだろうと、思わず秋の藤倉山を検索してしまいました。また秋にもブナ林を見たいと思いました。



エゴノキ



燧ヶ城跡から



ブナ林 (以上 b y 高橋)



鍋倉山からの下り



藤倉山山頂



鍋倉山山頂